

事業の概況(上半期)

億円未満は切り捨てて表示しております

販売電力量の概要

“契約電力の減少などから前年同期比1.5%減”

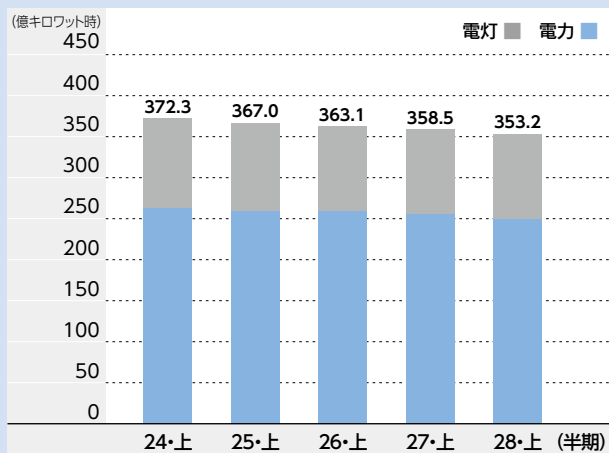
平成28年度上半期の販売電力量は、前年に比べ検針期間が長かったことや、夏場後半以降の気温が高く推移したことによる冷房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、前年同期に比べ1.5%減の353億2千万キロワット時となりました。

このうち電灯需要については、前年同期に比べ1.0%増の103億8千万キロワット時、電力需要については、前年同期に比べ2.5%減の249億4千万キロワット時となりました。

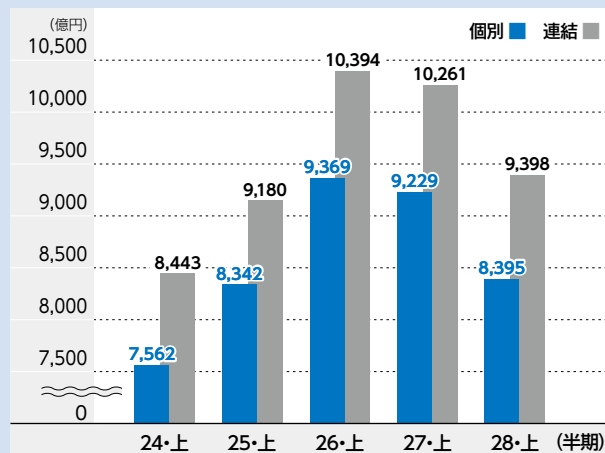


お客さまへの電気利用に関わる提案活動の様子

■販売電力量の推移



■売上高の推移



収支の概要

“5年ぶりの減収減益”

平成28年度上半期の連結収支は、収益面では、当社において、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に基づく再エネ特措法交付金が増加したものの、販売電力量ならびに燃料費調整額の減少などにより電灯・電力料が減少したことなどから、売上高（営業収益）は前年同期に比べ863億円（8.4%）減の9,398億円、四半期経常収益は前年同期に比べ901億円（8.7%）減の9,418億円となりました。

一方、費用面では、退職給付債務の算定に用いる割引率の低下などから退職給付費用が増加したものの、燃料価格の低下や円高などにより燃料費が減少したほか、経費全般にわたり効率化の実施に努めたこと

などから、四半期経常費用は前年同期に比べ686億円（7.3%）減の8,705億円となりました。

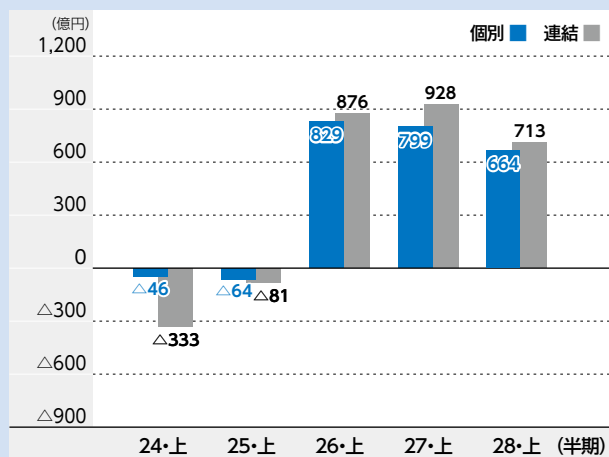
以上の結果、経常利益は前年同期に比べ214億円（23.2%）減の713億円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ156億円（24.8%）減の473億円となりました。

なお、個別（当社単独）の経常利益は664億円、四半期純利益は483億円となりました。

中間配当金は、上記の決算の状況や、経営基盤の回復および事業リスクへの対応力強化の必要性などを総合的に勘案し、1株につき15円とさせていただきます。なお、期末配当予想については、引き続き未定としております。

■経常損益の推移



■四半期純損益または親会社株主に帰属する四半期純損益の推移

